

れんごう中越地協

第1170号2024.12.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuetu.net/
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越第34回年次総会を開催 「2025年度重点課題」など確認

連合中越第34回年次総会を11月15日(金)午後3時からホテルニューオータニ長岡で開催しました。総会には幹事会役員、代議員など約100人の参加がありました。また、来賓として連合新潟桑原事務局、磯田達伸市長、稲田亮見附市長からご出席いただき、祝辞をいただきました。総会では「社会と未来を変えていく」仲間の輪を広げ、ともに進もう、顔の見える地域運動を発展させ、新たな組織拡大につなげようというスローガンと25年度重点課題、予算などを決定しました。

総会は、まず野田副議長が開会挨拶を述べ、議長団に新教組・高橋代議員とJ-P労組・目黒代議員を選出しました。最初に矢島議長より開会の挨拶がありました。冒頭、1年間にわたる組織活動への協力とご来賓への感謝の意が述べられ、また、長岡市長に來年度予算編成に向けた施策要望を提出したことが報告され、長岡市や見附

市との連携に感謝するとともに、引き続き政策提言に取り組みました。続いて、年明けの地震災害について触れ、新潟県内でも被災した多くの組合員や地域住民がいる現状を報告。自然災害に対する行政との連携や支援の重要性が強調されました。また、被災者の早期復旧を願い、労働組合として果たすべき役割を改めて考える必要性が示さ

れました。春闘については、33年ぶりの大幅な賃上げが実現したものの、実質賃金の改善には至っていない現状を指摘。物価上昇を上回る賃金改善の必要性や地域・業種間格差の解消が今後の重要課題とされました。引き続き、早期かつ具体的な要求内容の提示と実現に向けた取り組みを進める方針が述べられました。また、衆議院選挙で自公政権が過半数割れとなったことに触れ、政策の前進の機運が高まっていることを歓迎。来年の参議院選挙に向けた準備として、地域候補者や比例代表候補の応援体制の強化を呼びかけました。連合として、組織内議員を増やすことの重要性が強調されました。さらに、連合全体の組織拡大が課題とされ、組織率低下への歯止めをかける必要性が提起されました。地域密着型の活動を進める中で、連合中越は、地域団体やNPOとの連携を深め、福祉社会の実現を目指す取り組みを推進していきます。最後に、政策推進



や労働環境の改善を通じて連帯の重要性を強調。地域社会と労働組合が共に歩むための努力を続ける決意が示されました。総会には、連合新潟桑原事務局、磯田市長、稲田見附市長からご出席いただき、それぞれご祝辞をいただきました。桑原事務局からは、①組織拡大プラン2030の取り組み②実質賃金の向上に向け賃上げの継続から定着へ③政治課題、衆議院の勝利を参院選につなげよう、という3点についてあいさつがありました。

磯田市長からは、市政に対する御礼と共に、これからの労働運動、連合運動に期待と激励を込めたご挨拶をいただきました。特に現役世代の負担軽減について、財政、社会保障全体の改革の中で実現していく必要性を

強く感じているので、連携して取り組んでいきたいと述べられました。稲田見附市長からは、誰もが働きやすいまちづくり、ひとり一人が輝けるまちづくりを目指す市政についてご挨拶をいただきました。

報告と議案では、24年度活動報告と決算報告、会計監査報告が承認され、25年度重点課題、25年度予算を提案し決定されました。質疑では、近藤代議員・自治労から、長岡市長選の取り組みの報告

御礼とあわせて、取り組みまれている公務員の賃金闘争(確定闘争)の取り組み報告がありました。今年度は年次総会のため役員選挙はありませんでしたが、構成組織都合による役員の一部交代が提案され承認されました。次に、総会をもって役員を退任された野田副議長(4年間)が表彰され感謝状が贈呈されました。旧役員挨拶では、野田耕作前副議長と遠藤元治前幹事から、新役員挨拶では長谷川義和副議長から思いを込めた挨拶が述べられました。その後、総会宣言の採択、五十嵐副議長の閉会あいさつ、矢島議長の団結ガンバロウで総会を終りました。

また、総会会場入り口では、フードバンクなおかによるフードドライブ、「難病疾病対策署名」30人以下学級実習署名の署名活動、能登半島被災地支援のカンパ活動を行い、多くの方から協力をいただきました。

皆さんは「限界認知」と「マルチタスク」についてご存じでしょうか。限界認知とは、人間の脳内で理解できる量は決まっています。これを「限界認知」と呼びます。例えば、業務の進め方や流れについていけなくなり無理だと感じる場合や想定外の業務や大量の業務を振られて上手くこなせないと思うことなどが挙げられます。一方、「マルチタスク」とはさまざまな作業を短時間で行うことでタスクを切り替えや二つの作業を同時に取り組んだりする状態を指します。例えば、従業員に口頭で指導する傍ら書類の作成、従業員の現場をチェックしながら、自分の作業を進めたりするなどが挙げられます。限界認知とマルチタスクは関連性があり、たとえ限界認知が訪れたとしても、マルチタスクスキルを高めることができれば、自身の業務効率を高められるとされています。そういった状況をつくるポイントを紹介していきます。優先順位をつけることです。優先順位をつけなければ複数の作業があっても、どの順番で行うべきかわかるようになりません。優先順位のつけ方としては、やらなければならない項目を失くすことや重要性と緊急度の度

副議長
渡辺 将史
あたご3
《No103》



皆さんは「限界認知」と「マルチタスク」についてご存じでしょうか。限界認知とは、人間の脳内で理解できる量は決まっています。これを「限界認知」と呼びます。例えば、業務の進め方や流れについていけなくなり無理だと感じる場合や想定外の業務や大量の業務を振られて上手くこなせないと思うことなどが挙げられます。一方、「マルチタスク」とはさまざまな作業を短時間で行うことでタスクを切り替えや二つの作業を同時に取り組んだりする状態を指します。例えば、従業員に口頭で指導する傍ら書類の作成、従業員の現場をチェックしながら、自分の作業を進めたりするなどが挙げられます。限界認知とマルチタスクは関連性があり、たとえ限界認知が訪れたとしても、マルチタスクスキルを高めることができれば、自身の業務効率を高められるとされています。そういった状況をつくるポイントを紹介していきます。優先順位をつけることです。優先順位をつけなければ複数の作業があっても、どの順番で行うべきかわかるようになりません。優先順位のつけ方としては、やらなければならない項目を失くすことや重要性と緊急度の度

皆さんは「限界認知」と「マルチタスク」についてご存じでしょうか。限界認知とは、人間の脳内で理解できる量は決まっています。これを「限界認知」と呼びます。例えば、業務の進め方や流れについていけなくなり無理だと感じる場合や想定外の業務や大量の業務を振られて上手くこなせないと思うことなどが挙げられます。一方、「マルチタスク」とはさまざまな作業を短時間で行うことでタスクを切り替えや二つの作業を同時に取り組んだりする状態を指します。例えば、従業員に口頭で指導する傍ら書類の作成、従業員の現場をチェックしながら、自分の作業を進めたりするなどが挙げられます。限界認知とマルチタスクは関連性があり、たとえ限界認知が訪れたとしても、マルチタスクスキルを高めることができれば、自身の業務効率を高められるとされています。そういった状況をつくるポイントを紹介していきます。優先順位をつけることです。優先順位をつけなければ複数の作業があっても、どの順番で行うべきかわかるようになりません。優先順位のつけ方としては、やらなければならない項目を失くすことや重要性と緊急度の度

皆さんは「限界認知」と「マルチタスク」についてご存じでしょうか。限界認知とは、人間の脳内で理解できる量は決まっています。これを「限界認知」と呼びます。例えば、業務の進め方や流れについていけなくなり無理だと感じる場合や想定外の業務や大量の業務を振られて上手くこなせないと思うことなどが挙げられます。一方、「マルチタスク」とはさまざまな作業を短時間で行うことでタスクを切り替えや二つの作業を同時に取り組んだりする状態を指します。例えば、従業員に口頭で指導する傍ら書類の作成、従業員の現場をチェックしながら、自分の作業を進めたりするなどが挙げられます。限界認知とマルチタスクは関連性があり、たとえ限界認知が訪れたとしても、マルチタスクスキルを高めることができれば、自身の業務効率を高められるとされています。そういった状況をつくるポイントを紹介していきます。優先順位をつけることです。優先順位をつけなければ複数の作業があっても、どの順番で行うべきかわかるようになりません。優先順位のつけ方としては、やらなければならない項目を失くすことや重要性と緊急度の度

皆さんは「限界認知」と「マルチタスク」についてご存じでしょうか。限界認知とは、人間の脳内で理解できる量は決まっています。これを「限界認知」と呼びます。例えば、業務の進め方や流れについていけなくなり無理だと感じる場合や想定外の業務や大量の業務を振られて上手くこなせないと思うことなどが挙げられます。一方、「マルチタスク」とはさまざまな作業を短時間で行うことでタスクを切り替えや二つの作業を同時に取り組んだりする状態を指します。例えば、従業員に口頭で指導する傍ら書類の作成、従業員の現場をチェックしながら、自分の作業を進めたりするなどが挙げられます。限界認知とマルチタスクは関連性があり、たとえ限界認知が訪れたとしても、マルチタスクスキルを高めることができれば、自身の業務効率を高められるとされています。そういった状況をつくるポイントを紹介していきます。優先順位をつけることです。優先順位をつけなければ複数の作業があっても、どの順番で行うべきかわかるようになりません。優先順位のつけ方としては、やらなければならない項目を失くすことや重要性と緊急度の度

躍進レセプションを開催 推薦国会議員からも祝辞

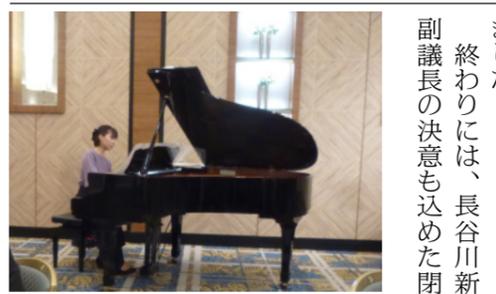
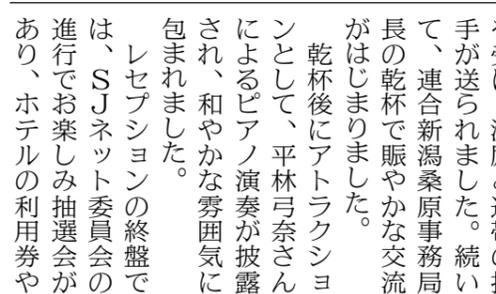
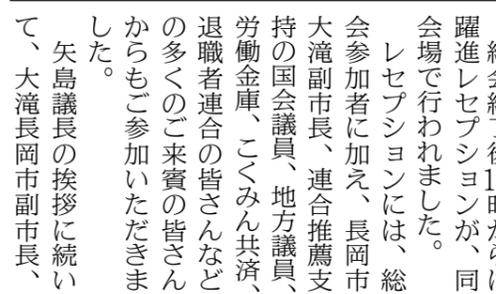
総会終了後18時から躍進レセプションが、同会場で行われました。レセプションには、総会参加者に加え、長岡市大滝副市長、連合推薦支持の国会議員、地方議員、労働金庫、こくみん共済、退職者連合の皆さんなどの多くのご来賓の皆さんからもご参加いただきました。矢島議長の挨拶に続いて、大滝副市長、

米山隆一衆議院議員、梅谷守衆議院議員、打越さく良参議院議員から挨拶を受け、激励と連帯の拍手が送られました。続いて、連合新潟桑原事務局長の乾杯で賑やかな交流がはじまりました。乾杯後にアトラクションとして、平林弓奈さんによるピアノ演奏が披露され、和やかな雰囲気になりました。

レセプションの終盤では、SJネット委員会の進行でお楽しみ抽選会があり、ホテルの利用券や

NPO法人UNEのどぶろくなど、地域資源を活用した食品や福祉作業所のお菓子などの賞品が当たり、大いに盛り上がりました。終わりに、長谷川新副議長の決意も込めた閉

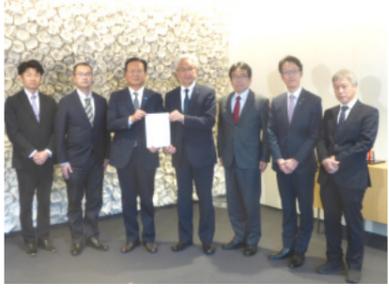
会の挨拶に続いて、SJネット委員会のメンバーによる、エネルギーシユな団結ガンバロウがあり、レセプションは終了しました。



長岡市磯田市長と面談し 市政要望書を提出

連合中越地協は、11月14日(木)午後1時からアオーレ長岡で磯田達伸市長と面会して、「2025年度長岡市予算に関する市政要望」を提出しました。

この日は、矢島議長、野田副議長(代理で長谷川日本精機労組委員長)、横澤事務局長、清水事務局次長が出席しました。また、連合推薦議員の五十嵐良一、松野憲一郎両長岡市議からも同席いただきました。最初に矢島議長から磯田市長に要望書を手交し、懇談に入りました。要望は、8分野26項目にわたっており、全ての項目について懇談できないことから、3項目に絞って、事務局から要望事項を説明し、市長からの見解などが示されました。3項目は①最低賃金の周知徹底とあわせて中小企業、零細事業者が賃金上昇分を価格転嫁できる施策の展開と診療報酬など公定価格となっている分野での労務費上昇分の適正反映②福祉分野での重層的支援体制の整備と専門人材の確保③小中学校の特別教室、体



育館への冷房設置です。磯田市長からは①最賃遵守の取り組みとあわせて人手不足対策として取り組んでいきたい②子どもの発達支援、引きこもり支援、DV被害者支援などに力を入れているがそのためにも重層的支援と専門人材の確保は重要と認識しているのについて取り組んでいきたい③特別教室の冷房設置は順次進めている。体育館は国の補助制度が使えないため改善を要望して



取りを増やす政策についても意見交換を行い、引き続き連携していくこととしました。五十嵐市議、松野市議からも最賃引き上げの課題など話がありました。その他の要望ではカスターマー・ハラメント防止について、民間企業における対策や教育現場の実態などを出して意見交換を行いました。全体で40分弱の時間でしたが意義深い懇談となりました。



中越地域退職者連合は、11月20日(水)に長岡市に、11月25日(月)に見附市に介護保険制度・社会保障制度を中心とした要請を行いました。



長岡市は、大滝副市長、水島福祉保健部長、関係7課長が出席、退職者連合は西片会長他役員7名が出席。要請は、最初に西片会長から大滝副市長に要請書を手渡し、内容について事務局長が説明の後に意見交換を行いました。

また、見附市は吉原副市長、小此鬼健康福祉課長、健康福祉課長補佐が出席、退職者連合は西片会長他役員7名が出席。中越地協横澤事務局長が同席しました。

ながおかワーク&ライフセミナー始まる

ながおかワーク&ライフセミナーは、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現をめざし、毎年長岡地区労働者福祉協議会と長岡地区労働協が主催し、今年度は11月から3月の間で7講座を開催する予定です。スタートしました。

第1講座報告



第1講座は、11月2日午前10時から長岡市立中央図書館講堂で「長岡こども・地域食堂ネットワーク」が企画開催し、45名が参加しました。セミナーはネットワーキングの長谷川さんの司会進行で、主催者を代表して矢島長岡地区労働協会長から「長岡地区労働協は、地域の中で、わたしたちがどうつながりを得ていけるか。生活者の目線でつながりを持つていくために、セミナーを行うている。今年度は7講座を計画している。今日も楽しみに」と挨拶がありました。

最初に、こどもたちが対話することで、こどもたちの多様な力が伸び



私たちが大人は対話をするのを忘れていないか。大人はきちんと対話しているのか。《こどもかいき》をとおして気づいたことでした。

次に長岡こども・地域食堂ネットワーク佐竹代表から「出張こども食堂in輪島」能登半島被災地支援報告会を開催。長岡こども・地域食堂ネットワークは、長岡市

内でも活動している23か所のこども食堂で活動している仲間の緩やかなネットワークです。能登半島地震で大きな被害があった輪島市に出向き、輪島で行っていた方々も一緒に、こども食堂in輪島を開いて、「心の復興」を支援・交流しています。「2回目の支援活動も準備していたが、水害による被害で実現していない。一緒に交流を希望する人は連絡してほしい。カンパも募集しているのので協力をお願いします。

11月23日(土)午後2時から、アオーレ長岡市民協働ルームで第2講座「誰もが安心して認知症になれるまち」を開催し、35名が参加しました。

第2講座は、「ながおか認知症の人と笑顔でい

抱えている生活不安を拭拭し安心して暮らせることを目的とし、1.医療計画・医療提供体制の拡充、2.介護保険制度の充実、3.介護サービスの充実・推進、4.介護労働者の処遇改善と人材確保、5.「ひきこもり」の対策・支援(特に80・60問題を中心)6.低所得高齢単身者問題について(特に高齢女性の貧困率が高い)7.身寄りのない高齢者の対策、8.带状疱疹の予防接種の補助等である。要請は、両市とも50分程度で終了しました。後日文書で回答されます。(高峰退職者連合事務局長)

抱えている生活不安を拭拭し安心して暮らせることを目的とし、1.医療計画・医療提供体制の拡充、2.介護保険制度の充実、3.介護サービスの充実・推進、4.介護労働者の処遇改善と人材確保、5.「ひきこもり」の対策・支援(特に80・60問題を中心)6.低所得高齢単身者問題について(特に高齢女性の貧困率が高い)7.身寄りのない高齢者の対策、8.带状疱疹の予防接種の補助等である。要請は、両市とも50分程度で終了しました。後日文書で回答されます。(高峰退職者連合事務局長)

ながおかワーク&ライフセミナー開催予定

第3講座 ひきこもりふおーらむ
と き: 12月14日(土) :13:30~16:30
ところ: 長岡市立中央図書館 講堂
開催団体: 認定特定非営利活動法人UNE

第4講座 映画「土を喰らう十二ヵ月」
と き: 1月16日(木) :15:00~17:10
ところ: アオーレ長岡 市民交流ホールA
開催団体: 長岡アジア映画祭実行委員会!

第5講座 “暴力被害女性と生き難さを抱えた若者たちへの支援を続けて”
と き: 2月1日(土) :14:00~15:30
ところ: 長岡市立劇場 大会議室
開催団体: NPO法人女のスペース・ながおか

第6講座~第7講座 2月から3月に開催予定 現在準備中

詳しくはセミナーホームページで